

なにわ人権教育ネットワークとの協議等議事録（要旨）

教育委員会事務局 指導部 教育活動支援担当

- 1 日 時 令和7年1月15日（水） 午後6時30分 ～ 午後8時30分
- 2 場 所 大阪市役所 地下1階 第11 共通会議室
- 3 団 体 名 なにわ人権教育ネットワーク
- 4 協議等の趣旨 教育全般及び人権教育の推進についての要望
- 5 出 席 者
(団体側)
代表者 他8名
(本 市)
課長級12名 係長級1名
- 6 議 事
 - (1) なにわ人権教育ネットワークが果たしてきた役割とその成果について（項目1）
 - 【団体要望概要】
 - ・今後も引き続き人権ネットとの協議を行うよう求める。
 - ・大阪市教育局の人権教育啓発推進計画の一部だけが、ネット上に掲載されていることについて、対応を求める。
 - 【本市説明概要】
 - ・引き続き行っていく。
 - ・ネット上での掲載については、確認して対応する。
 - (2) 旧同和教育推進校への施策を活用した支援と今後の加配について（項目7）
 - 【団体要望概要】
 - ・同和教育推進校が、これまで培ってきた同和教育をはじめとする人権教育の取り組みが後退することのないよう、加配も含めた教職員の増員を行われない。
 - 【本市説明概要】
 - ・加配定数の増について指定都市市長会や指定都市教育委員会協議会を通じ、引き続き国に要望してまいる。全国的に教員の確保が厳しい状況にはあるが、大阪市としては、人材確保に向け引き続きしっかりと取り組んでまいる。

(3) 栄養教諭の全校配置について（項目 8）

【団体要望概要】

- ・食物アレルギーの子どもへの対応や食教育の重要性から、すべての小中学校に栄養教諭を配置すべき。

【本市説明概要】

- ・栄養教諭の重要性は認識している。しかし、国が定める基準を超える栄養職員の配置は困難な状況であり、今後とも、国による教職員定数の改善の動向を注視しながら適切に対処してまいる。

(4) 浪速区の学校配置の適正化について（項目 12）

【団体要望概要】

- ・浪速区では外国人の出入りがかなり多いことや、過去に統合後に子どもが急増して教室不足が起きた事例もある。このまま進めることが果たして適切なのか。人口動態は把握しにくい面もあることを丁寧に見据えて、考えてほしい。
- ・統合にともない、学校跡地や避難場所、地域活動がどうなるのか、使用する校舎が狭くなること、通学の安全など、様々な懸念がある。そういったことについて、しっかりと考えてほしい。

【本市説明概要】

- ・外国籍児童の増加など、各校の状況は様々であることは教育委員会としても認識している。過去10年の推移等もふまえながら、推計を算出し、今後の増減の傾向をふまえて対象校を決めているところである。浪速区内の学校においては、複式学級が生じるなど、小規模化が進んでいることから、教育環境改善のため、適正配置を進めていく必要がある。
- ・統合にあたっては、不安や懸念を払しょくできるよう、区と教育委員会とで連携しながら進めてまいりたい。

(5) 学校選択制について（項目 13）

【団体要望】

- ・学校選択制に反対する。低学力や荒れの問題、地域に対する忌避意識などにより、課題のある学校を避ける問題も生じている。学校選択制が導入されて10年経過した中、良い面、悪い面をどのように整理し、検証しているのか。

【本市説明概要】

- ・令和5年3月に学校選択制にかかる検証をとりまとめた。学校選択制は、子どもや保護者が学校を選べること、そのため学校に関心をもち情報を主体的に集めるようになった等の良い面があり、約7割を超える保護者から評価を得ている。一方、忌避意識の問題や、学校の荒れや学力に関する課題がある事は認識しており、学校案内・各区HPにおける正しい情報発

信や、学力課題のある学校への重点的支援などの取組を進めている。引き続き、学校、区、関係機関と連携を図り、課題解消に向けた取組をしっかりと進める。

(6) 支援学校について (項目 14)

【団体要望概要】

- ・旧栄小学校の跡地に開校した、府立難波支援学校、なにわ高等支援学校の安全の管理、安全確保について、浪速区の中の一つの学校という位置づけで考えている。通っている児童生徒については、地域ぐるみ安全安心を見守っている。
- ・大阪市教育委員会として障がいのある児童生徒の安全確保についてどのように考えているのか。

【本市説明概要】

- ・大阪市として両校の開校にあたり、地域の皆様方に多大なるご協力をいただいた。
- ・両校へ通学する児童生徒及び大阪市キャリア教育支援センターに通う生徒の安全安心について、大阪府教育庁及び関係機関との連携を図りながら安全管理、安全確保に努めていく。

(7) 平和に関する指導について (項目 16)

【団体要望概要】

- ・戦後 80 年になり戦争経験者が少なくなっていくことは、平和が続いているということだが、戦争経験がないことによって間違った考えた方してしまう子どもや大人が増えていく可能性があるので、今後もしっかり取組をしてもらいたい。(意見のみ)

(8) 部活動指導員について (項目 21)

【団体要望概要】

- ・部活指導員への人権研修について、特に同和問題についての研修を行っているか。

【本市説明概要】

- ・部活動指導員には発令の際に研修を実施し、発令後についても数回に分けて研修を実施している。また、学生には発令前にも研修を実施。研修では、障がい者問題、同和問題、在日韓国、朝鮮人問題等も含めた総合的な人権研修を実施している。

(9) 学校園の ICT 環境について (項目 22)

【団体要望概要】

- ・パソコンの動作や接続時間については少しずつではあるが改善されてきている。ただし、成績シーズンなどで集中すると接続するのに時間がかかったり動作が遅くなる。現場では入力時間をずらすなど工夫している状態である。更なる改善をお願いする。
- ・ICTを活用した学習では、スカイメニューではなくロイロノートの方が利用しやすい。

【本市説明概要】

- ・パソコンの更新時には、より性能の高いパソコンを導入しております。ネットワークに関しては、学校から連絡いただいたところから順次現場対応に入っており、全般的には安定してきている状況にはなっております。可能なところからではありますが、引続き改善に努めてまいります。今後は次期ネットワークの整備を進める予定であり、これまで学校から頂いたご意見を踏まえ、より高速で安定したネットワークを提供できるように進めてまいります。
- ・ロイロノートは学習系システムとして別の担当となりますので、そちらにご意見を引継ぎます。

(10) 今後の道德教育について（項目 23）

【団体要望概要】

- ・道德の教科書を中心としながら、人権教育と関連が深い教材については、より効果的だと思われる部分について活用を進めることは良いのか。
- ・地域等から、良い教材についての提案について聞いていただけるのか。

【本市説明概要】

- ・教科書は主たる教材として使用するが、人権教育の内容についても、道德教育と共通する部分が多々あるので、道德の内容項目に合致、ねらいを達成できるようなものは使用することが可能である。
- ・何か良い教材があればお示しいただくことは一つの方法である。

(11) チャレンジテストについて（項目 24）

【団体要望概要】

- ・チャレンジテストはやめてほしいが、実施するのか。

【本市説明概要】

- ・大阪府が主となって実施しているものなので、実施の是非については議題に上がらない。公正性、公平性については、少し工夫を要する部分について現場から聞いているので、大阪府との協議を今後も続けていきたい。

(12) すくすくウォッチについて（項目 25）

【団体要望概要】

- ・学力経年調査や全国学力・学習状況調査実施なども、児童や教職員に大きな負担となっているが、こちらについても引き続き実施していくのか。

【本市説明概要】

- ・それぞれの調査にはねらいがあり、成果の部分はあるものの、児童の負担については把握している。例えば、すくすくウォッチについては、教育委員会会議の中でそのことが議論になり、現場の負担感は配慮すべきとの指摘は受けている。教育委員会としては、大阪府

教育庁に要望をあげ、改正を図っていきたいと思っており、三つの調査についてもその視点で検討を進めていきたい。

(13) 指導要録について（項目 27）

【団体要望概要】

- ・指導の評価において、出席等の部分で、記録の変更が行われているとのことだが、教育委員会としての考え方を述べていただきたい。

【本市説明概要】

- ・回答の通り、変更している部分はない。

(14) 学校園における働き方について（項目 28）

【団体要望概要】

- ・働き方改革の上で欠席連絡アプリ等を活用していくことは、良い面もあるが、しっかりと人の配置をすれば、もっと良い面が出るのでお願いしたい。（意見のみ）

(15) 学校事務職員の配置について（項目 29）

【団体要望概要】

- ・教員の長時間勤務を解消するためには、学校事務職員をはじめ栄養教諭など専門職の加配が必要ではないか。

【本市説明概要】

- ・学校事務職員及び栄養教諭の配置については、国が定める基準を超える配置は困難な状況である。教員の負担軽減対策の観点から、授業以外のさまざまな業務（学習プリントの印刷や学校行事の準備作業など）を補助的に行うスクールサポートスタッフを学校に配置している。

(16) 医療的ケア児のいる学校園に対する看護師の配置について（項目 33）

【団体要望概要】 33

- ・学校配置看護師の充実に伴い、さらなる看護師のスキルアップを期待している。

【本市説明概要】

- ・毎月開催している看護師連絡会や様々な研修を通じて、看護師としてのスキルのボトムアップを図っていく。

(17) 市立幼稚園の事務職員と管理作業員の配置について（項目 35）

【団体要望概要】

- ・市立幼稚園の事業担当主事（補）を増員されたい。

【本市説明概要】

- ・国費の負担がない中ではあるが、今年度は全幼稚園に1名の事業担当主事（補）の配置を行っている。今後とも引き続き、実態に応じて適切な職員配置に努めてまいる。

(18) 支援を要する園児について（項目 36）

【団体要望概要】

- ・障がいのある園児がいる市立幼稚園に対して、担当教諭を配置すること。
- ・支援を要する園児に対する介助サポーターの勤務日数を大幅に増やすとともに増員を図ること。

【本市説明概要】

- ・支援を要する幼児への対応として、支援担当講師（フルタイム）を全園に配置している。
- ・特別支援加配として3名の常勤講師を配置し、3園分の介助サポーター予算を他園に割り振ることで、可能な限り、介助サポーターの配置日数の拡充に努めている。

(19) 教員採用試験の受験倍率について（項目 38）

【団体要望概要】

- ・教員の人材確保に向けた施策として、初任給を政令市で一番高くしたが、今も続いているのか。4年後は全国平均を下回るのか。
- ・そのほかどのような取組を行っているのか。

【本市説明概要】

- ・初任給については、現在も政令市トップをキープしている。ご指摘のように5年目には上乗せ分が解消され、通常の給与月額となる。
- ・処遇面では、昇格時のメリットとして上位の級の下位の級と重なっている部分を無くすることで、早期に昇格すれば給料が職責に合った給料となるような仕組みに変更している。

(20) 万博での安全・安心、安全対策、希望パビリオンについて（項目 39、40、41）

【団体要望概要】

- ・万博に関して、大阪市教育委員会での取り決めをしたり、解決したりできる問題ではないと把握しているが、良い体験ができるように、安全面にしっかりと対応していただきたい。学校行事として実施するには、しっかりと情報を開示して、特にメリット、デメリットも含めて説明してほしい。（意見のみ）
- ・学校行事として実施するとなると、授業時数はいくらか削られるのか。普段の社会見学などが削られるのか。
- ・下見についても、不安材料が今のところ全然拭えない。
- ・事故があった場合、どのように対応するのか、どう責任をとるのか非常に心配であるため、慎重に進め、できるだけ早い情報開示をお願いしたい。

【本市説明概要】

- ・学校行事の扱いについては、学校の判断となっている。
- ・下見については、基本的に開幕後であるが、4月5、6日のテストランにおいては、4月、5月に参加する学校が下見できると連絡があった。
- ・様々な課題があることは承知しており、大阪府教育庁に要望をあげ、改善を図っている。現場の声も拾いながら、まとめて大阪府教育庁を通じて、博覧会協会にも要望をあげている。